

# 令和8年産

# 仙台麦作情報

2026. 4. 15 第5号

宮城県仙台農業改良普及センター

Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk>

## 今後の栽培管理のポイント



(1) ほ場排水の徹底 (2) 適期追肥の実施 (3) 赤かび病の適期防除 (4) 適期刈取

## 1 気象経過 (10月第1半旬～4月第2半旬、仙台アメダス)

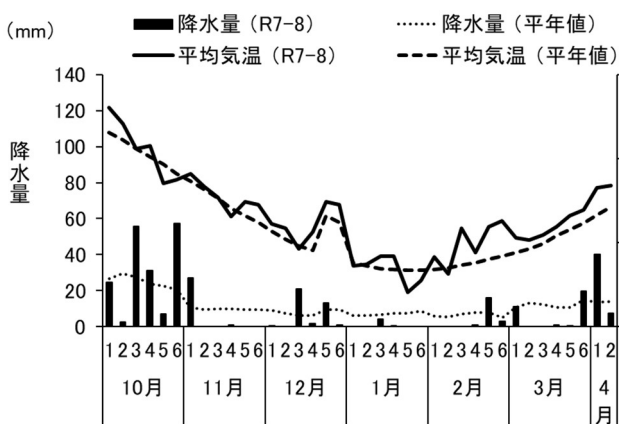


図1 半旬平均気温と降水量の推移

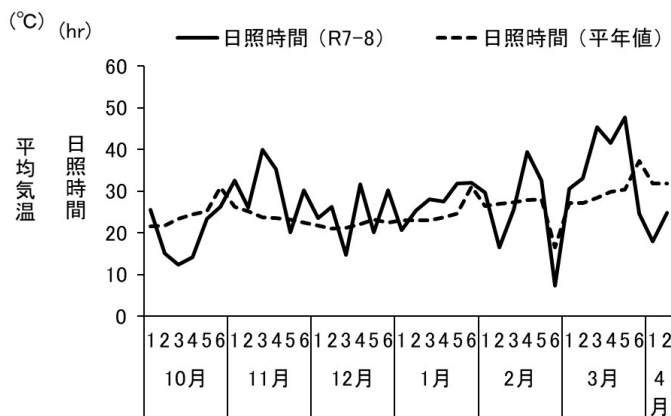


図2 半旬日照時間の推移

気温：2月中旬以降、平年より高く推移しています。

降水量：3月は平年並か少なく推移しましたが、4月上旬は多くなりました。

日照時間：3月上中旬は多かったものの、3月下旬以降少なくなりました。

## 2 大麦生育調査結果 (令和8年4月10日現在)

表1 生育調査ほにおける生育調査結果 (令和8年4月10日調査)

品種	ほ場	条間(cm)	播種日	草丈(cm)			莖数(本/m <sup>2</sup> )			幼穂長(cm)		
				本年	平年比(%)	前年比(%)	本年	平年比(%)	前年比(%)	本年	平年差	前年差
ホワイトファイバー	仙台市宮城野区	25.3	10月20日(10月14日)	24.8	57.8	75.6	347.2	75.6	83.7	2.7	-0.9	-0.1
	大和町落合報恩寺	28.9	11月15日(11月13日)	37.6	98.3	130.6	606.3	74.9	118.0	1.3	-0.8	0.9

※播種日の ( ) は前年値。また、平年値は3か年平均。

### ・仙台市ホワイトファイバー

草丈は24.8cm (平年比58%) となり、莖数は347.2本/m<sup>2</sup> (平年比76%) となりました。幼穂長は2.7cm (平年差-0.9cm) で、4月11日に減数分裂期を迎えました。また、生育ステージ予測では出穂期は4月17日となる見込みです。

## ・大和町ホワイトファイバー

草丈は 37.6cm (平年比 98%) で、莖数は、606.3 本/m<sup>2</sup> (平年比 75%) と平年より少ないものの、前年より多くなりました。幼穂長は 1.3cm (平年差-0.8cm) となり、生育ステージ予測では減数分裂期は 4 月 18 日、出穂期は 4 月 24 日となる見込みです。

表 2 生育調査ほにおける生育ステージ予測

品種	ほ場	播種日		減数分裂期		出穂期予想		開花期予想
		本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年
ホワイト ファイバー	仙台市 宮城野区	10月20日	10月14日	4月11日	4月11日	(4月17日)	4月17日	(4月25日)
	大和町 落合報恩寺	11月15日	11月13日	(4月18日)	4月26日	(4月24日)	5月1日	(5月3日)

※ ( ) 内の日付は普及に移す技術第 91 号参考資料「麦類の生育ステージ予測シート」による予測。

※仙台市ほ場は仙台アメダス、大和町ほ場は大衡アメダスのデータを使用しています。



仙台市ホワイトファイバー



大和町ホワイトファイバー



幼穂 (仙台市ホワイトファイバー)



幼穂 (大和町ホワイトファイバー)

### 3 今後の栽培管理

#### ①排水状況の確認

- ・麦類は節間伸長期から登熟期にかけて、湿害の影響を受けやすくなります。降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。
- ・「暗きよの再点検（閉じていないか）」、「明きよの手直し」を行いましょう。
- ・節間伸長期～出穂期に湿害が及ぼす影響  
→①弱小分けつの枯死②穂数の減少③穂の縮小化

#### ②適期追肥の実施

- ・大麦：4/20 前後に出穂を迎えるほ場が多いと考えられます。出穂期以降の追肥は硬質麦になるおそれがあるので控えましょう。
- ・小麦：平年に比べて気温が高い傾向です。減数分裂期と穂揃期を確認して追肥しましょう。

表3 追肥の目安

追肥の種類 (生育ステージ)		幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長3cm)	穂揃期 (8～9割が出穂)
目的		有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	時期	3月上～中旬	4月上～中旬	4月中～下旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	硬質麦防止のため 実施しない
小麦	時期	3月下旬～4月上旬	4月下旬	5月中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	窒素成分5kg (硫安25kg)	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)

※時期はおおよその目安であり、実際には現地ほ場の幼穂長を確認し、追肥時期を判断しましょう。  
※大豆後のほ場では、生育旺盛の場合を除き、規定量の追肥を行っても問題ありません。

#### ○減数分裂期の追肥（大麦、小麦）

- ・効果：1穂粒数の増加、登熟の向上
- ・減数分裂期に追肥を実施しないと、細麦化するおそれがあります。減数分裂期後の窒素供給量が減少し、1粒当たりの光合成産物の分配量が少なくなるためです。
- ・大麦では、追肥時期が遅れると硬質麦の発生原因となるため、幼穂長や止葉葉耳間長を観察し、適期に追肥を実施しましょう。
- ・「ホワイトファイバー」はもち性大麦であり、高いβ-グルカン含有率が必要です。β-グルカン含有率の低下を避けるため、減数分裂期の追肥を必ず実施しましょう。

### \* 止葉葉耳間長による減数分裂期の推定について

- ・大麦（シュンライ、ホワイトファイバー、ミノリムギなど）  
→ほ場の2割程度の茎が止葉葉耳間長±0mmに達したときが減数分裂期
- ・小麦（シラネコムギなど）  
→ほ場の4～5割程度の茎が止葉葉耳間長±0mmに達したときが減数分裂期

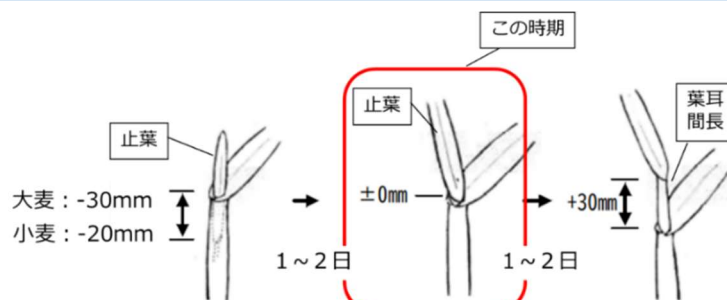


図3 止葉葉耳間長の形態的推移（普及に移す技術第81、83号参照）

### ○穂揃期追肥（小麦）

- ・効果：千粒重、容積重、子実たんぱく質含有率の向上
- ・小麦では、高いタンパク質含有率が求められます。品質を確保するため、追肥は幼穂形成期+減数分裂期+穂揃期の3回を基本とします。

### ③赤かび病の適期防除～2回防除が基本！～

今後も気温が高いことが予想され、開花期が予測より早まる可能性があります。開花期の適期防除を実施できるよう麦の生育ステージを確認しましょう！

- ・令和5年に国内産小麦の一部から食品衛生法の基準値を超える赤かび毒が検出され、出荷停止及び回収される事案がありました。原因として、適期防除ができていなかったこと、水分含有率が高い収穫物が一斉に収穫され乾燥調製に日数を要したこと等が挙げられています。
- ・赤かび病は人畜に有害なかび毒を産生するため、農産物検査では食用麦の赤かび粒混入限度が0.0%と厳しくなっています。表2の開花期予想を参考に予防防除を徹底し、発生防止に努めましょう。
- ・今後の天候によって開花期が予測より早くなる可能性があるため、実際に麦の生育を確認して、下記の防除時期を参考にしながら防除を実施しましょう。
- ・ほ場の土壤水分が高いと、発生が助長されます。排水対策を徹底しましょう。

防除時期… 1回目（重要！）：開花始期～開花期、2回目：1回目から7～10日後

※降雨が続く場合は、3回防除を行います（3回目：2回目から7～10日後）

#### ④適期刈取

- ・麦の収穫は収量や品質面を考慮し、早刈りや刈遅れのないよう麦の生育状況に合わせて行いましょう。そのため、実際には場で麦の状態を確認して、適期に刈取りを行いましょう。
- ・成熟期及び刈取り適期の目安→**成熟期の目安：出穂期から 40～45 日後**

#### ○1 か月予報（4/11～5/10 仙台管区気象台 令和 8 年 4 月 9 日発表）

向こう 1 か月	暖かい空気に覆われやすいため、向こう 1 か月の気温は高いでしょう。特に、期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。
1 週目 4/11～4/17	気温が平年に比べて高くなる確率が 80%です。
2 週目 4/18～4/24	気温が平年に比べて高くなる確率が 50%です。
3～4 週目 4/25～5/8	気温が平年に比べて高くなる確率が 50%です。